

お知らせ

平成 19 年度後期 フォトン・ファクトリー研究会の募集

放射光科学研究施設長 若槻壮市

物質構造科学研究所放射光科学研究施設（フォトン・ファクトリー）では放射光科学の研究推進のため、研究会の提案を全国の研究者から公募しています。この研究会は放射光科学及びその関連分野の研究の中から、重要な特定のテーマについて 1～2 日間、高エネルギー加速器研究機構のキャンパスで集中的に討議するものです。年間 6 件程度の研究会の開催を予定しております。

つきましては研究会を下記のとおり募集致しますのでご応募下さいますようお願いいたします。

記

1. 開催期間 平成 19 年 4 月～平成 19 年 9 月
2. 応募締切日 平成 18 年 12 月 15 日（金）
〔年 2 回（前期と後期）募集しています〕
3. 応募書類記載事項（A4 判，様式任意）
 - (1) 研究会題名（英訳を添える）
 - (2) 提案内容（400 字程度の説明）
 - (3) 提案代表者氏名，所属及び職名（所内，所外を問わない）
 - (4) 世話人氏名（所内の者に限る）
 - (5) 開催を希望する時期
 - (6) 参加予定者数及び参加が予定されている主な研究者の氏名，所属及び職名
4. 応募書類送付先
〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所事務室
TEL：029-864-5635

* 封筒の表に「フォトン・ファクトリー研究会応募」と朱書のこと。

なお、旅費、宿泊費等については実施前に詳細な打ち合わせのうえ、支給が可能な範囲で準備します（1 件当り上限 50 万円程度）。

また、研究会の報告書を KEK Proceedings として出版していただきます。

平成 19 年度前期 共同利用実験課題公募について

実験企画調整担当 小林 克己
宇佐美徳子

上記公募締切が下記のようになっております（平成 18 年度前期公募より S 型, G 型, P 型の締切が同じになりました）。

S2 型, G 型, P 型課題 平成 18 年 11 月 6 日（月）

P 型（予備実験・初心者実験）の申請に当たっては、実験ステーション担当者と技術的なことについて緊密に打ち合わせて下さい。

今回より課題申請はワード文書または PDF 形式の書類をメール添付で受け付けることになりました（課題責任者の印またはサインは不要）。外国からの申請でコンタクトパーソンが記載されていた場合は、事務方からコンタクトパーソンに連絡を取り、承諾の確認を行います。また、申請書の受理通知もメールで送られるようになりますが、提出先等詳細につきましては、決まり次第 PF ホームページ (<http://pfwww.kek.jp/indexj.html>) にてお知らせ致します。

放射光共同利用実験応募資料は PF ホームページ「放射光共同利用実験申請要領 (http://pfwww.kek.jp/users_info/pac_application/)」を御覧下さい。

不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

研究協力課共同利用係

Tel: 029-864-5126 Fax: 029-864-4602

Email: kyodo1@mail.kek.jp

実験企画調整担当者 小林 克己

Email: katsumi.kobayashi@kek.jp

X線イメージングに関する新規実験課題 募集のお知らせ (BL-14B, BL-15C)

放射光科学第二研究系 平野馨一

BL-14B と BL-15C ではこれまで多様な X 線イメージング研究が行われてきましたが[1-4]、このたび、それらの最先端のイメージング技術を一般ユーザーも手軽に利用できるよう、X 線 CCD カメラや解析ソフトなどを導入して実験環境の整備を行いました。利用できるイメージング技術は、吸収コントラスト CT, 位相コントラスト CT, X 線トポグラフィ等です。これらの手法を用いて観察したい試料をお持ちの方は担当者までご一報下さい。観察可能な試料の目安は、たとえば X 線 CT の場合、以下の通りです。

- ・サイズ：φ5mm 以下であること
- ・材質：10 ~ 30 keV の X 線に対して透過率が 10%

以上のもの

- ・安全法規上問題のないもの
- ・汚染, 破損, 紛失しても構わないもの

試料の投影像のみを撮影する場合, X 線 CCD カメラで観察可能な試料サイズは 20 mm 角程度になります。

質問や要望などがある方は,

担当者: 平野馨一

Tel: 029-864-5649

Fax: 029-864-2801

e-mail: keiichi.hirano@kek.jp

までご連絡下さい。

参考文献

- [1] A. Momose, T. Takeda, Y. Itai and K. Hirano : Nature Medicine, **2** (1996) 473.
- [2] K. Hirano : J. Phys. D: Appl. Phys., **36** (2003) 1469.
- [3] I. Koyama, Y. Hamaishi and A. Momose : AIP Conference Proceedings, **705** (2004) 1283.
- [4] A. Maksimenko, M. Ando, H. Sugiyama and T. Yuasa : Appl. Phys. Lett., **86** (2005) 124105.

共同利用関係のお知らせ

実験企画調整担当 小林克己

1. 共同利用研究者宿泊施設（ドミトリ）の宿泊料金が、10月1日から以下のように改定されます。これに伴い、すべての部屋にバスタオルが配備されます。4月から既に行われている給湯設備、洗濯機・乾燥機、エアコンなどの設備の改修とあわせて利用環境のレベルアップを図ります。
シングル（バス・トイレ付き） 1泊 2000 円
シングル（バス・トイレ無し） 1泊 1500 円
2. これまで本機構から出張旅費を支給される場合には、所属機関に出張依頼書を送付し、返答をもらっていましたが、この秋から出張依頼の送付を廃止します。引き続き必要な方は事務室に御連絡下さい。
3. 出張旅費が共同利用者の口座に振り込まれた際に、共同利用者に対して支払済通知と言うはがきでお知らせしていましたが、やはりこの秋からメールでのお知らせに変わります。詳しくは以下の URL をご覧下さい。
(<http://www.kek.jp/intra-j/guide/announce/2006/denshika.html>)
(2, 3 に関しての正確な実施時期については Web でお知らせします)
4. 機構では共同利用者の受け入れ手続きに関して、利用者への利便性の向上と処理手続きの効率化を図る為

に、「共同利用者支援システム」の開発・導入の準備を行っています。来年4月にこのシステムが導入されると、利用者には以下のようなメリットがあります。

- (ア) 出張・宿泊などの各種申請窓口がユーザーズオフィスに一本化される。
- (イ) 各ユーザーにポータルサイトが設定され、書類提出状況や出張・宿泊手続きの進行状況が自分で確認できるようになる。
- (ウ) 機構から支給される出張旅費から宿泊施設の使用料金が相殺される。

これ以外にも多くのメリットがありますが、詳しいことは後日お知らせします。

2006年防災・防火訓練について

PF 安全担当 伊藤健二

放射光科学研究施設では、ユーザーの皆様にも協力していただき毎年防災・防火訓練を実施しております。昨年度は機構全体の訓練の日程決定が遅れたため、PFの訓練は別立てで行いました。今年度の機構全体の訓練は、PF主催で11月7日(火)午後実施することになりました。従来の訓練では、ユーザー実験の停止は30分程度でしたが、今回はもう少し長くなるのが予想されますので、事情をご理解の上、訓練へ積極的に参加されるようお願いいたします。

地震を未然に防ぐことは困難ですが、火災やその他の災害を未然に防ぐこと、地震等が発生しても被害を最小に抑える努力をすることは可能です。PFで共同利用を行っていただく上で必要な安全上の事項は、<http://pfwww.kek.jp/safety/general/safety.html> にまとめてあります。今一度ご覧になり、安全を含めた防災・防火について確認していただくようお願いいたします。

ユーザーの皆さまの日頃からの防災・防火に対するご協力に感謝を申し上げますとともに、防災・防火および安全についてPFへのご意見等がございましたら、PFスタッフにお知らせ下さるようお願いいたします。

KEK 一般公開のお知らせ

一般公開実行委員 放射光科学第一研究系 安達弘通
放射光源研究系 野上隆史

今年のKEK一般公開は、9月3日(日)に開催されます。機構内の多くの施設が公開される予定であり、PFでは、PFコントロール室、リング内、PF実験ホールの一部、PF-AR NW 実験ホールを公開する予定です。KEK内のそれぞれの場所でそれぞれの担当者が工夫をこらして、加速器、実験機器、研究成果の展示や科学おちゃの展示、実演

などを行う予定です。小さいお子さんから一般の方まで楽しめるような企画が盛りだくさんですので、放射光ユーザーの皆様も、普段とは異なるKEKを楽しんでいただけたらと思います。

ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、KEK一般公開にお越しいただきますよう職員一同心よりお待ち申し上げます。つくばセンター(つくばエクスプレス「つくば駅」下車すぐ)とKEKの間は当日無料送迎バスが運行されます。また、機構内の移動には無料巡回バスが運行されます。

KEK一般公開に関する詳細は、<http://openhouse.kek.jp/> をご参照ください。

1. 日時 2006年9月3日(日) 9:00～16:30
2. 公開施設等
コッククロフト・ウォルトン静電型加速器、電子陽電子入射器棟、フォトン・ファクトリー、Bファクトリー加速器、アッセンブリホール、陽子リニアック棟(STF施設)、超伝導・低温・真空実験棟、放射線科学センター、計算科学センター、機械工学センター、超伝導低温工学センター、屋上展望台
3. 展示等
国際共同実験、大強度陽子加速器計画(J-PARC)コーナー、K2K/T2K実験コーナー、中性子・ミュオン実験コーナー、短寿命核ビーム実験施設コーナー、朝永博士生誕100周年記念展示、加速器の歴史、質問コーナー
4. 講演
11:00-12:00 「宇宙・物質・生命をつなぐ糸」
鈴木厚人(KEK機構長)
12:45-13:45 「火山の中を見ようーミュオンによるレントゲン写真ー」
永嶺謙忠(KEK名誉教授)
14:00-15:00 「中性子で観る新世界」
池田進(KEK物質構造科学研究所副所長)
5. その他の主な企画
 - おもしろ物理教室「カーボンナノチューブから出た電子を加速して、七色の光をつくってみよう」
 - ラジオを作ってみよう
 - 科学おもちゃであそぼう!
 - 声はどれだけ遠くまで届くか?
 - 紙飛行機を作って滞空時間に挑戦しよう!

平成18年7月4日

関係機関の長
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村 理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御告知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研06-1

1 公募人員

教授 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、助教授、講師、研究機関講師及び助手であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究(職務)内容

物質構造科学研究所放射光源研究系に所属し、挿入光源グループのリーダーとして挿入光源の分野で指導的役割を担う。本研究所が進める将来計画に中心メンバーとして参画すると共に現地の放射光用電子蓄積リングの運転・維持・改良の責任を分担する。

3 応募資格

着任時点で博士の学位を有するもの。

4 公募経路

平成18年8月25日(金)

5 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

6 選考方法

原則として面接とする。ただし、第一段階の審査として書類審査を行う場合がある。

7 提出書類

- (1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
- (2) 研 究 歴
- (3) 発表論文リスト 和文と英文は別葉とすること。
- (4) 着任後の抱負
- (5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別葉にすること。なお、各葉に氏名を記入すること。

8 書類送付

送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大徳1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること。

9 問い合わせ先

- (1) 研究内容等について
研究主幹 春日 俊夫(放射光源研究系) TEL. 029-864-5632(内線)
- (2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL. 029-554-5118(内線)

平成18年7月4日

関係機関の長
関係各位

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村 理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御告知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物構研06-2

1 公募人員

教授 1名 (任期なし)

本機構の教員の職名は、教授、助教授、講師、研究機関講師及び助手であるが、機構の性格から、大学における講座制とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。

2 研究(職務)内容

物質構造科学研究所放射光源研究系に所属し、制御・ビーム診断グループのリーダーとして制御系やビーム診断を含むビームインストルメンテーション分野で指導的役割を担う。本研究所が進める将来計画に中心メンバーとして参画すると共に現用の放射光用電子蓄積リングの運転・維持・改良の責任を分担する。

3 応募資格

着任時点で博士の学位を有するもの。

4 公募締切

平成18年8月25日(金)

5 着任時期

採用決定後できるだけ早い時期

6 選考方法

原則として面接とする。ただし、第一段階の選考として書類選考を行う場合がある。

7 提出書類

- (1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
- (2) 研 究 歴
- (3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別葉とすること。
- (4) 着任後の抱負
- (5) 論文別刷 ----- 主要なもの5編以内
- (6) 本人に関する推薦書または参考意見書

上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4用紙書きとし、それぞれ別葉にすること。
なお、各葉に氏名を記入すること。

8 書類送付

送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大徳1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は留印とすること。

9 問い合わせ先

- (1) 研究内容等について
研究主任 春日 俊夫 (放射光源研究系) TEL 029-854-5632(内線14)
- (2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL 029-854-5118(内線14)

平成18年7月4日

関係機関の長
関係各位 殿

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所長 下村 理 (公印省略)

大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所教員公募について (依頼)

本機構では、下記のとおり教員を公募いたしますので、貴関係各位に御周知いただき、適任者の推薦または応募をお願いいたします。

記

公募番号 物集研06-3

- 1 公募人員
助手 1名 (任期なし)
本機構の教員の職名は、教授、助教授、講師、研究機関講師及び助手であるが、機構の性格から、大学における制度とは異なる運営が行われる。また、本機構の教員の定年は63歳である。
- 2 研究(職務)内容
物質構造科学研究所放射光源研究系電子軌道グループに所属し、放射光源の電子軌道の研究および電磁石系の開発に従事する。放射光将来計画に参画すると共に現用の放射光用電子蓄積リングの運転・維持・改良に従事する。
- 3 応募資格
新卒時点で博士の学位を有するもの。
- 4 公募締切
平成18年8月25日(金)
- 5 着任時期
採用決定後できるだけ早い時期
- 6 選考方法
原則として面接とする。ただし、第一段階の審査として書類審査を行う場合がある。
- 7 提出書類
(1) 履 歴 書 ----- 通常の履歴事項の後に、①応募する公募番号(2件以上応募の場合はその順位)及び、②可能な着任時期を明記すること。また、電子メールアドレスがある場合は明記すること。
(2) 研 究 歴
(3) 発表論文リスト ----- 和文と英文は別紙とすること。
(4) 着任後の抱負
(5) 論 文 別 紙 ----- 主要なもの5編以内
(6) 本人に関する推薦書または参考意見書
上記の書類は、履歴書用紙を除き、すべてA4判横書きとし、それぞれ別紙にすること。
なお、各表に氏名を記入すること。
- 8 書類送付
送付先 〒305-0801
茨城県つくば市大穂1-1
大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構
総務部人事労務課任用係
封筒の表に「教員公募関係」と朱書きし、郵送の場合は書留とすること。
- 9 問い合わせ先
(1) 研究内容等について
研究主幹 春日 俊夫(放射光源研究系) TEL. 029-854-5632(内線5118)
(2) 提出書類について
総務部人事労務課任用係 TEL. 029-864-5118(内線5118)

予 定 一 覧

2006 年

- | | |
|---------------|--|
| 9月 3日 | KEK 一般公開 |
| 9月 19日 ~ 20日 | 平成 18 年度 PF 懇談会講習会「放射光利用研究基礎講習会」 |
| 10月 2日 | PF-AR 平成 18 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 10月 10日 | PF 平成 18 年度第二期ユーザー運転開始 |
| 11月 6日 | 平成 19 年度前期共同利用実験課題 (S 型, G 型, P 型) 申請締切 |
| 11月 7日 | 防災・防火訓練 |
| 11月 20日 ~ 23日 | Asian Crystallographic Association and the Crystallographic Society of Japan (エポカルつくば) |
| 11月 24日 ~ 25日 | 1st Asian/Oceanic Forum for Synchrotrory Radiation Research (KEK・3 号館セミナーホール) |
| 12月 15日 | 平成 19 年度前期フォトン・ファクトリー研究会公募締切 |
| 12月 25日 | PF, PF-AR 平成 18 年度第二期ユーザー運転終了 |

2007 年

- | | |
|--------------|---|
| 1月 12日 ~ 14日 | 第 20 回日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム (広島国際会議場) |
|--------------|---|

最新情報は <http://pfwww.kek.jp/spice/getschtxt> でご覧下さい。